

講座4

「特別支援教育進路～実際のケースから考える、大切にしたいこと」



<講座内容>

前半は、本校進路指導部長より、本校高等部の作業学習や産業現場等における実習の実際について、また、近年の卒業生の進路状況について、データや解説を交えながら説明をしました。次に、「進路の選択・指導の実際」として、本校教諭から「中学校の特別支援学級における進路指導」、「本校高等部卒業生の姿」というテーマで話がありました。具体例を聞いた後、「自分が担任だったら、このケースではどのように進路指導を進めるか」「働くために、どのような力を育てていきたいか」等のテーマについて話し合う場面を設定したところ、各グループで熱の入った話し合いが見られました。

後半は、参加された先生方に3グループに分かれていただき、「進路指導での悩み、気になっていること」について、協議を行いました。講座に参加された皆さんの校種も職種も様々でしたが、それぞれの思いにそれぞれの視点で応え、意見を交換し合うことで、こちらも熱い話し合いとなりました。講座終了後も、参加者同士で交流をしている様子が見られました。

～参加者の感想より～

- ・企業、福祉の意見をもとに、切実な課題として日ごろから「働く力」とはについて取り組んでいるが、「学校ではできるけど～」に終始してしまうのが現状でした。実際に卒業生を出され、継続的に支援されている担任の先生の「ここが大事だよ」のポイントは2学期から実践に生かせると思います。
- ・具体的な事例を多く取り上げてお話くださったので想像しやすく、理解できました。「こんな時、どこに相談すれば？」が分かり今後の参考にさせていただきます。
- ・高等部での進路指導の様子、進路先、福祉サービスについて、具体的な事例から考えることができ良かったです。
- ・高等部のカリキュラム、産業現場等における実習を含めた、進路決定、進路指導について詳しく知ることができました。